

よこはま都市消防



公益社団法人 横浜市防火防災協会
Yokohama Disaster Prevention



けん引工作車:横浜市消防訓練センターにて 近藤 美樹さん

特別
寄稿

新型コロナ対策と
企業の危機管理

48号

1 4 7 10月

| 2020 | Autumn |

目次／フォト収集	2
新会長あいさつ 理事の紹介	3
防災功労者表彰	4
消防車は語る(第4回)	5
特別寄稿 新型コロナ対策と企業の危機管理	6~8
研修会等の中止について	8
横浜市危機管理室より	9
横浜消防の近代史	10~11
協会にお任せ	11
こんにちは 危機管理監	12~13
潤滑油と触媒	13
各区火災予防協会訪問(中区)	14
横浜消防トピック119	15

- 横浜市自衛消防隊等連絡会 新代表のあいさつ
- 「それゆけ!キッズ救急隊」ダンス動画配信

好評連載

- 新約消防白書
 - コラム 妄言多謝
 - 横浜路地裏日記
 - ベストショット
- 編集後記／「消防関係法令集」販売中

今回は相撲に例えてみた 表紙 国技館入口、力士の四股名の旗がなびく 目次 幕内の土俵入り、今日は千秋楽、好取り組みだ フォト収集 化粧まわしが美しい 横綱の土俵入り、横浜消防の近代史は雲竜型、減災新聞の視点は不知火型、(今場所は休場(休載)) 消防車は語る 桟敷席から見上げると優勝力士の額が並び 潤滑油と触媒 解説者による決まり手の解説 こんにちは 向正面のゲスト、今日も会話を楽しみたい 協会にお任せ 千秋楽恒例協会挨拶 特集 注目の好取り組み 各区協会だより 相撲部屋訪問 トピック119 いま話題の力士 災害時こそ食事 力水(今場所休場) これより三役 消防白書 妄言多謝 路地裏日記 が土俵を締める ナイスショット 弓取式 編集後記 今場所を振り返って 広告 懸賞旗が土俵を回った 来場所も好取り組みを期待したい

表紙の写真について 【けん引工作車】けん引工作車は、大型車両の横転による下敷きや転落、事故車両の固定及び引き上げ、重量物の排除などが必要な災害に出場する車両です。装備や機能としては、車両上部に装備された伸縮・旋回が可能なレッカー装置の2基のウインチにより、事故車両等の引き起こし、吊り上げ及び引張り作業を行うことができます。また、車両後部に装備されたアンダーリフトにより事故車両等をリフトアップし、けん引をして移動をすることもできます。(消防局施設課車両係)

「フォト収集」#13

山

稜線黄葉 作者:武笠基和
金峰山 このために秋の山道を登ります。



鉄道

秋の会津 作者:佐々木功喜
'08年只見線、このときまだ薄色の秋でした。



風景

朝もやの御射鹿池 作者:M・N
朝もやの中、黄金色に色づく木々が幻想的でした。



人物

平穏な日々 作者:T・O
子供の笑顔が一番! (船橋大神宮にて)



新会長就任あいさつ



公益社団法人横浜市防火防災協会
会長 鈴木 正光

このたび、令和2年6月23日に開催されました定時総会及び理事会におきまして会員の皆様のご指名をいただき会長に就任いたしました。

これまで長年にわたり、当協会の発展に多大な貢献をされた石井前会長の意思を引き継ぎ、横浜市の安全と安心の実現に寄与してまいりたいと考えております。

もとより微力ではございますが、重責を十分自覚し協会の使命達成のため全力を尽くす所存でございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、平穏な日常を取り戻すことができず、皆様方にも大

きな影響が及んでいることと思います。当協会においても受託している講習事業の一部が中止になるなど、これまでに経験したことがない大変厳しい事業運営となっています。こうした社会情勢の中で、公益社団法人として協会の役割は一層重要となっています。横浜市の指導をいただきながら会員の皆様をはじめ市内事業所、関係団体の皆様との連携を一層深め、困難を乗り越えていく決意でございます。

今後ともご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

定時総会 及び 理事会

令和2年度 公益社団法人横浜市防火防災協会定時総会は6月23日、横浜市西区の崎陽軒会議室において、新型コロナの感染拡大防止に配慮しつつ、一部縮小して開催しました。



令和2年度 公益社団法人 横浜市防火防災協会役員名簿

令和2年6月23日現在

役員名	氏名	役員名	氏名	役員名	氏名
理事・会長	鈴木 正光	理事	渡邊 一郎	理事	三科 均
理事・副会長	緑川 美津雄	理事	早川 達雄	理事	横川 秀男
理事・副会長	吉山 昌秀	理事	橋浦 重己	理事	角田 宏子
理事・専務理事	野路 秀雄	理事	森山 元明	理事	清水 隆男
理事・常任理事	坂野 満	理事	坂本 武	理事	川口 恭正
理事	山本 龍行	理事	浜田 登志男	監事	小泉 伸一
理事	長谷川 秀樹	理事	児玉 聖司	監事	相原 友宏

令和2年度 防災功労者表彰

防災功労者表彰の皆様



次の方々が防災功労者表彰を受賞されました。

行政区別	受賞者名
鶴見	AGC株式会社 AGC横浜テクニカルセンター
神奈川	AGC株式会社 中央研究所
西	株式会社 崎陽軒
中	株式会社 横浜スタジアム
南	株式会社 ケイディエス 神奈川ドライビングスクール
港南	株式会社 相鉄ビルマネジメント 横浜エリア事業部港南台営業所
保土ヶ谷	ヤベライフパートナー 株式会社
旭	有限会社 ベルセブン 代表取締役 鈴木 昭彦
磯子	株式会社 日立インフォメーションエンジニアリング システムプラザ横浜
金沢	横浜ケミカル倉庫 有限会社
港北	小松精機 株式会社
緑	ヤマト建設 株式会社 代表取締役 小林 清一
青葉	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス
都筑	株式会社 DNPテクノパック横浜工場
戸塚	医療法人 横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立第2病院
栄	大洋石油ガス 株式会社
泉	川崎自動車工業 株式会社
瀬谷	社会福祉法人 恵正福祉会 介護老人保健施設 恵の杜

(敬称略)

受賞された皆様におかれましては誠にありがとうございました。

わが国初の救助工作車 専任救助隊車

1919年、特設消防署規程公布により東京について京都府、大阪府、神奈川県、兵庫県および愛知県の5府県に消防署が設置された。神奈川県は、『第1消防署』（現 横浜市西消防署）、『第2消防署』（現 中消防署）が設置され現代消防の幕開きとなった。

先進諸国では産業革命が軌道に乗り、それに伴い都市の発展、災害の多様化、生活事故・産業事故の多発などで消防活動に対する需要は多くなった。

イラストは、ドイツのマーセデス(メルセデス)製です。装備は、潜火服(石綿製耐熱防火衣)、救助幕、縄はしご、防毒マスク、鹿皮耐熱マスク、^{かき}鉤つきはしご、探照灯であった。現代の装備とは比べようがない原始的なものであった。

専任救助隊の隊員は消防署員若しくは消防組組員の中の志願者から選ばれ『消防決死隊』と称されていた。消防職の中でも最も誇り高い職種で、各界から尊敬されていた。活動中に命綱をつけるのは恥とされていた。潜火服は、送気の無い潜水服と考えてよいと思うが、火煙中での活動は10分前後であったそうだ。火災中の要救助者を救助幕に放り投げ、自分も転がり落ちる正に決死の活動であったと聞きました。

専任救助隊精神は、昭和39年発足の特別救助隊に引き継がれるまで続きました。

専任救助隊車両には2本の^{かき}鉤つきはしごが積載されていました。私が入局した昭和40年には特別救助隊の車庫に置かれていました。幅が狭い^{かき}はしごの先端に鉤がついて

いて上階の開口部に引っ掛けて上階に上るのです。居住地消防隊員は『ポンピアラツタル』（消防隊はしご）と聞いていたのですが、私が聞いたのは『一本ピアラダー』だと聞きました。

エピソード

独立呼吸器具(空気マスク)が配置されたのは1965年頃です。50年くらいは防毒マスク(防煙マスク)で消防活動をしてきたのですが、この間、技術革新が無かったわけではないので、先輩諸侯の命がけの努力にはいまさらながらあらためて敬意を表するものです。

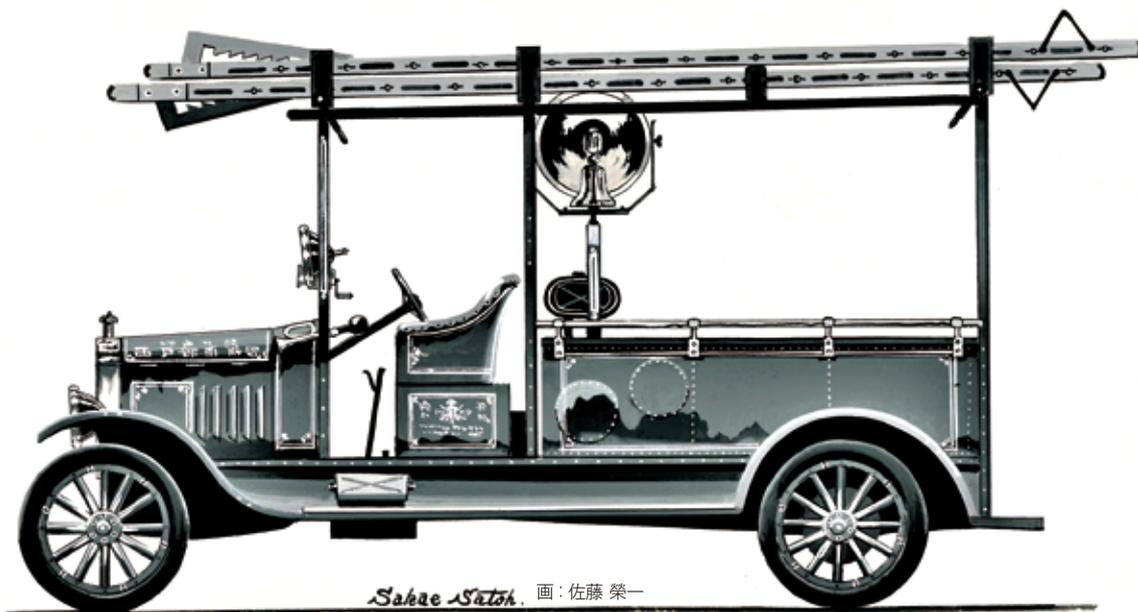
私が新任の頃は、先輩が濃煙熱気の中で小一時間も筒先を握り続け、放水活動をするのは当たり前状態でした。新任は5分の我慢ができなくて速く先輩に追いつこうとがんばりました。

青っ漬をたらして部署を守るのが『名放水長』でした。この頃、新建材の有毒煙が問題化し全消防隊に独立式呼吸器が装備されるようになりました。『特別救助隊』の礎となった『消防決死隊』専任救助隊員のみなさまに重ねて心から敬意を表します。



防災・生活安全 ^{がもん} 我聞塾
桐蔭横浜大学 客員教授

佐藤 榮一



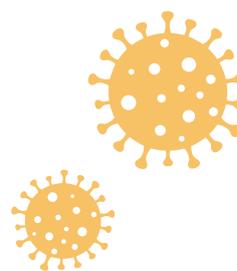
Sakae Satah. 画：佐藤 榮一

特別
寄稿

新型コロナ対策



企業の危機管理



防災・消防計画作成の 知見を生かして 事業継続計画を作成しよう

はじめに 防火・防災管理と強毒感染症

感染症が単なる保健医療問題か生命関連災害か議論が沸いているが政府は災害ではないとコメントしている。しかし、私個人は、パンデミックに進展する恐れのある感染症や伝染病は災害として管理されるのは当然のことと思っている。

知人の会社がいわゆるコロナ倒産を見越して整理に入った。新年を迎えられない、社員に必要なことをしてやれないというのが理由である。サプライヤーが活動できなくなったことが主因だそうだが、自社は健全とはいえないまでも何とか回っていたのに判らないものだ。

彼は、「突然とはいえ自分の無策が招いたことで反省の余地はない。佐藤の進言どおり事業継続計画を立てておくべきだった。」とも。私は、今もなお、消防計画、防災計画と並んでコロナ災害事業継続計画を策定する必要があると痛感している。

ウイルス感染症は、例年身近なインフルエンザをはじめ、ポリオ、HIV、サーズ、マーズなどなどパンデ

ミックを恐れながら付き合ってきた病気である。中には未だに有効なワクチンが作れないものや突然変異などで性質が変わっていくものが多く、厄介な微生物でもある。

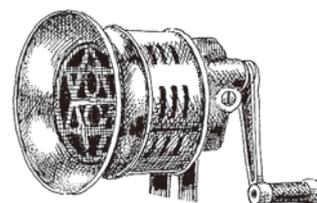
鳥インフルエンザが人に感染しそれがさらに人に感染する、いわゆるヒトヒト感染を起こしパンデミックを恐れたのが2008年～2009年であった。

私の勤務した施設では、防火防災管理の一環として防災管理者が感染防止に取り組んだことは記憶に新しい。

2010年には横浜市内でも感染拡大の気配に警戒を強め、健康福祉局では真剣な取り組み『新型インフルエンザ等対策、横浜市の場合』として発表した。記憶を引き出すと現在につながり、今回のCOVID-19対策の一助になると思われる。これは、2014年には内閣官房の研修会に資料として使用されたとのことで現在も横浜市のホームページに残っている。第2波対策には活用してもらいたい内容である。

当時の新型インフルエンザは、症状も従来のものとは異なり、特異の症状により被害者が多数発生した。

タミフル、子供が服用すると異常行動を起こして



Sabae Sabae

マンションから墜落死したり、走行中の車から飛び出して死傷するなどの事故が多発した。さらに、ワクチン製造のためとして、鶏卵が市中から消えた。この前後、保健所から鳥の死骸を発見したら絶対に触らぬようにとの通知を受け取った。私が勤務する施設では連日のように、カラスや、ハト、スズメの死骸が複数転がっていた。

国の感染症対策ガイドラインも『新型インフルエンザ』から『新型インフルエンザ等』と改訂された。

当時、恐れずにおおらかな対処を、また、恐れるべきことは正しく恐れようと啓発されていた。生活は

止めずに平常を維持する。マスクをする、手洗いをする、清掃をして清潔を保つなど、感染防止は確実にする。『咳・くしゃみエチケット』などの言葉も生まれた。



医療体制維持のため、帰国者・接触者相談センターの設置、公衆感染、市中感染のための発熱相談センター・発熱外来病院の開設をして、突然医療機関を訪れることの無いように指導され、医療崩壊を防ぐことへの配慮もあった。相談センターの指示でかかりつけ医へかかりつけ医からの紹介で発熱外来病院へとのルートが広報されていた。

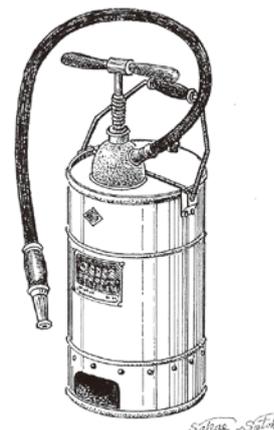
むやみに、勝手に医療機関に行かぬこと。医療崩壊が最悪の感染拡大つまりパンデミックを引き起こす。宿主からの直接感染は強毒感染になることが多いが弱毒感染に誘導できれば重症化リスクは減らせるとの学者の話も聞いた。「ウイルスは脳神経を持たないが本能として宿主を殺すと自滅することを知っているようだ。」

軽症者、無症状者は家庭隔離を指定されるのだが家庭隔離の方法も指導資料の中に記載されていた。

危機管理に照らし合わせた 事業所の感染症対策 事業所としての 中間検証をしてみよう

ウイルス感染対策、想定外想定として考える

- ▶ **社内パンデミックを想定しているか。**
 - ・社員一人ひとりが、自分の感染、家族の感染、
 - ・組織内感染を考えているか
- ▶ **現況の思考は、Risk Hedge.(リスクへの備え)になりえているか。**
 - ・サプライヤー・取引先の感染・立地地域の感染
 - ・感染公表、対応の経済的損失
- ▶ **在宅テレワークは本当に良い効果を生んだのか。**
 - ・社業が成り立つ結果を生んでいるか
- ▶ **BCPを設定しているか**
 - ・重要事業と不要・不急事業を分類してあるか。
 - ・年度末決算期までのタイムラインを作ってみよう
- ▶ **テレワークは本当に信頼に足るものか**
 - ・今後どのようにすべきか。
 - ・不要不急の業務をテレワークの名の下でテレワークに適さない業務を他部署に負担をかけてはいないか。
 - (顧客対面接遇、サプライヤー等連絡、郵便物等の送受、施設管理運用等)
- ▶ **ゴルフ等〇〇三昧、パチンコしてても在宅勤務**
 - ・カタストロフマネジメント(大惨劇処理)は、リモートではできない。
- ▶ **有人処理で、労災・交通事故・火災・盗難など**
- ▶ **避難訓練をテレワーク化しようとした事業所・教育機関**
 - ・消防計画も大幅に変わる。
 - (情報待ち。)



今後に備えて 会社・事業所内での感染防止

正しく恐れよう感染症

- ◆ 厳密にそして愚直に守れ、感染防護セオリー
- ◆ 手抜き・おざなり・おチャラケは崩壊の元
- ◆ やってるフリ・やったツモリも同様
- ◆ 岩手県の感染者"ゼロ"と津波テンデンコの風土、その県民性にならえ
 - 感染率最少国、フィンランドの国民性、SISU（シス）〈不屈の精神〉。
 - 同じく、台湾の状況、台湾総督 後藤新平へのリスペクトによる。(TVニュース)

おわりに

私が福祉保健局の指導を得て防災管理の一環として感染症対策に取り組んだのは2008年から9年にかけてであった。

企業のダメージは自社内感染が発生することで経営が成り立たなくなることから発生する、今回の新型コロナウイルスでは会社封鎖、営業自粛によって、危機的状況に陥っている企業が増加していることは憂慮すべきことである。

危機管理上何をいいたいかという組織や制度ではなく構成員一人ひとりの意識と愚直な実践が大切だと申し上げたい。一人の感染が組織内に感染を拡大させて属するグループがクラスターとなり伝播させていく。更に顧客・取引先に、サプライヤーにと伝染させていく。

自社の事業継続 計画作成しよう



私に教授してくれたウイルス学者が言いました。「私は感染しない自信がある。なぜなら、感染すると私自身^{るっぽ}の仕事ができなくなるから」ウイルスの坩堝のような環境でも感染しない。この覚悟と自信が国民一人ひとりに必要なのではないだろうか。私もその教えを守って、確実な手洗い、マスク使用、外出後の服の管理(玄関で脱ぐ)、入浴・シャンプー、トイレは着座使用、飲料水は1時間に3度くらい三口飲み、など効果があるだろうと思うことは実行している。

私自身も大人になってから50年以上、風邪、インフルエンザ、腹症等には罹^{かか}ったことはない。

桐蔭横浜大学 法学部
客員教授 佐藤 榮一
消防学 危機管理学
元保土ヶ谷消防署長



がもん
防災・生活安全 我聞塾
桐蔭横浜大学 客員教授
佐藤 榮一



研修会等の中止について(お詫び)

当協会の本年度事業計画に基づき開催予定の「防災セミナー」「防災視察研修会」「防災講演会」につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とさせていただきます。

その代替えといたしまして、今回、小誌「よこはま都市消防」に特別寄稿として「新型コロナ対策と企業の危機管理」、「横浜市危機管理室より」を掲載させていただきました。

なお、会員の皆様には「秋の火災予防運動ポスター」を10月上旬に例年通りお届けする予定です。ご理解のほどよろしく願いいたします。

横浜市防火防災協会 事務局長

※「滅災新聞」の視点、「ひとり整体」のすすめは休載させていただきました。

横浜市新市庁舎における 災害への備え 横浜市総務局危機管理課

横浜役所は、今年6月から新市庁舎に移転しました。

危機管理室のある10階は、災害対策本部機能を有しており、発災時には危機管理の中核として、情報収集や緊急対策の立案等を行っています。

そのほか、新市庁舎では、様々な災害に備えた機能があり、その一部をご紹介します。



1 震災対策：ハイブリッド免震

建物の2階と3階の間に免震装置を設置し、免震層上部の揺れを低減させるとともに、制振装置により地震エネルギーを吸収させることで、執務室での什器転倒などの被害を防ぎ、業務の継続性を確保します。

2 浸水対策：避難デッキ

万一、津波が発生した際に、市民・来街者が避難できるよう大岡川沿いの建物2階周縁部に敷地外部からも直接アクセス可能なオープンデッキを設置しています。また、1階の各出入口には防潮板を設置することが可能であり、建物（特に地下階）への浸水を防ぎます。



1 ハイブリッド免震



2 避難デッキ

3 その他対策：ヘリポート



災害時における人命救助や消火活動、物資の輸送なども想定し、大型のヘリコプターも離着陸が可能なヘリポート（飛行場外離発着場）を建物屋上に設置しています。

問合せ先 横浜市総務局危機管理課 TEL:045-671-2171
横浜市総務局管理課(庁舎に関すること)

自宅でも災害への備えを 進めよう! 横浜市総務局地域防災課

大規模地震や大型の台風・大雨等に対する事前の備えを進めましょう。

1 震災への備え：家具の転倒防止対策

家具や家電の転倒は、けが・逃げ遅れ・電気火災等の原因にもなります。自分自身や家族の命を守るために、転倒防止器具を設置するなど、事前に対策をしましょう。



横浜市では、家具転倒防止対策の取組を支援するため、同居者全員が65歳以上である等の対象要件に該当する場合、転倒防止器具の取付けを無料代行します。

※ 器具代は自己負担

横浜市 家具転倒防止

検索

2 風水害への備え：マイ・タイムラインの作成

台風・大雨時における一人ひとりの行動計画であるマイ・タイムラインを作成しましょう。

本市では、地域にアドバイザーを派遣し、マイ・タイムラインを作成する研修を行っています。

横浜市 マイ・タイムライン

検索

3 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

台風や大地震の際の避難場所では「密閉・密集・密接」の3条件がそろいやすく感染のリスクが高くなります。避難とは「難」を「避」けることであり、避難場所に行くことだけが避難行動ではありません。

- 1 自宅で安全を確保できる場合には、自宅の上階など在宅避難に努めてください。
- 2 安全な親戚や友人宅も避難先として検討しましょう。
- 3 避難場所に避難する際に持参する非常持出品に、マスク、体温計等も含めてください。

問合せ先 横浜市総務局地域防災課
TEL:045-671-3456

お知らせ

横浜市防災情報ポータルを 開設しました!

<https://bousai.city.yokohama.lg.jp/>

横浜市 防災情報ポータル

検索

市庁舎移転に合わせて、災害時に市民の皆様へいち早く情報をお伝えするため、「横浜市防災情報ポータル」のホームページを開設しました。ここでは、警報等の気象情報や、避難に関する情報等を掲載しています。本市ホームページや公式ツイッター等と合わせてご利用ください。

問合せ先 横浜市総務局緊急対策課 TEL:045-671-2064

横浜消防の近代史

外国人が見た横浜の防火設備

横浜開港資料館

調査研究員 吉田 律人



図Ⅰ 外国人が描いた横浜市街地 チャールズ・ワーグマン画 『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』 1865年3月18日付 横浜開港資料館所蔵

前々回、前回と横浜市街地に設けられた火の見櫓や天水桶に触れてきたが、今回はもう少し詳しくそれらについて検討してみたい。図Ⅱは 1865年3月18日付のイギリスの絵入り新聞、『イラストレイテッド・ロンドン・ニュース』に報じられた横浜市街地の様子である。同紙特派画家のチャールズ・ワーグマンが1864年12月27日(元治元年11月29日)に行われた清水清次の市中引き廻しの状況を描いている。清水は同年11月21日(10月22日)に鶴岡八幡宮前で発生したイギリス士官殺害事件の首謀者で、その処刑は居留外国人たちの関心を集めていた。ただし、本稿で注目したいのは、馬上に縛られた清水ではなく、周囲に描かれた火の見櫓(図Ⅱ)や天水桶(図Ⅲ)である。五雲亭貞秀が描いた浮世絵と同様に、それらの設備が横浜市

街地に存在したことがワーグマンのスケッチからも確認できる。

火の見櫓は火災の早期発見と同時に、警報を発するのに用いられた。横浜在住のイギリス軍人ジェームズ・ウィリアム・マレーが写真家フェリーチェ・ベアトのアルバムに寄せた解説文には、「火事の発生は鐘を鳴らして知らせる。そしてその目的だけのためにすべての町に鐘が設けられている。火が燃え盛っている正確な場所は、鐘の鳴らし方によって知らされ、各地区の火消がそれぞれ特色のある纏をもってそちらへ急ぐ」と記されている(横浜開港資料館編『F. ベアト写真集 2』明石書店、2006年、58頁、伊藤久子訳)。同時期の風俗を書き残した喜田川守貞は江戸の火の見櫓について、「遠所ノ火事ニハ一打シテ、又間アリテ、又一打シ、



図Ⅱ 火の見櫓（部分拡大）

寛クーツツハ打之也。既、大火ノ兆アリテ、火消人足ヲ出スベキニハ、二打ツハ打之テ、人夫ヲ促スノ証トス。又、近火ニハ一打ツハ、極テ急繁ニ打之。町内及隣町ノ火ニハ、撞木ニテ打チノ摩ル」と記録しており、おそらく横浜でも同様の運用がなされていたのだろう（朝倉治彦・柏川修一編『守貞謄稿 第一巻』東京堂出版、1992年、66頁）。火の見櫓は危機を知らせる重要な役割を担っていた。

一方、天水桶は雨水を貯めておく容器で、出火の際は、その上に置かれた小型の桶を用いて初期消火を行った。既述のマレーも「ほとんどの家には大きな水槽が備えられており、多くの場合、手桶が



図Ⅲ 天水桶（部分拡大）

ピラミッド状に積みあげてある。水槽は火事に備えていつも満水に保たれ、いったん勢いのついた炎を止めるのに十分には程遠いけれども、大火の最初の拡がりを防ぐにはしばしば役立つ」と、天水桶の役割を記している（前掲『F. ペアト写真集 2』、

47頁）。水利に乏しい当時の横浜市街地において、街中に配置された天水桶は、大火を防ぐ装置として機能していたと考えられる。なお、近代水道の普及とともに天水桶は姿を消していったが、今日でも神社や寺院でその姿を見ることができる（図Ⅳ）。



図Ⅳ 大山阿夫利神社（伊勢原市）・下社拝殿横の天水桶
2019（令和元）年5月 吉田撮影



防火防災 協会におまかせ!

「応急手当普及員」制度をご存じですか?

応急手当普及員は、消防局長の認定を受け、市内の事業所や自主防災組織等で普通救命講習の指導を行う方です。最近では従業員等に救命講習の受講を義務付ける事業所等が増えてきており、事業所内の救命講習指導者として応急手当普及員を置く事業所等が年々増えています。



市内の応急手当普及員が指導する普通救命講習の修了者数は、なんと毎年2,000人超です。消防局から受託して応急手当普及員を養成するための講習(3日間)を年5回実施しているほか、講習に必要な人形やAEDの無料貸出し、修了証カードの発行、テキストや感染防止用品などの教材の頒布も行っています。

救命講習や 講師派遣等の出張指導もおまかせ!

市内の事業所や町内会などの単位で救命講習を行いたい場合や講師派遣等も当協会にご相談ください。日時などもご要望に添いながら出張指導させていただきます。当協会では大学看護学部や専門学校への講師派遣、消防団員に対する救命スキルアップ講習など、様々なご要望にお応えしながら、市内在住・在勤・在学者の皆さまの救命技能等の向上を図っています。



気軽にご相談ください!

お問い合わせ、ご相談は、
講習課の吉田が承ります。

TEL 045-714-9909
よろしくお願ひします。

横浜市危機管理監を訪問

今回は4月に横浜市危機管理監に就任された高坂哲也前消防局長を訪問しました。現在、新型コロナウイルス感染症対策で大変お忙しい中、お話を伺いました。



て出初式は市民に愛されているイベントだと実感しました。来ていただいた市民の皆様や協賛していただいた方々に感謝しています。

災害では、旭消防署長時代に出場した産業廃棄物施設火災です。黒煙が延々と立ち昇り、炎天下の中で、火が消えるか隊員が倒れるか、

まさに戦いでした。なんとか水分の補給と交代要員が整い、時間は要しましたが、顔を真っ黒にした隊員たちの奮起で火災を鎮火させることができました。

Q はじめに危機管理監就任の感想を聞かせてください。

危機管理は市民に及ぶ危機すべてに対応するので範囲が非常に広く、スピード感も求められます。大変重責で身の引き締まる思いです。

Q 気持ちの変化はありましたか。

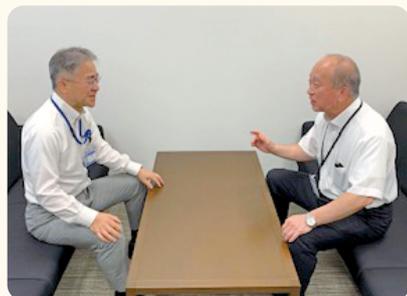
消防局では、常に緊張が解けることはなく3月31日に制服を脱いだときに、開放感とともにホッとしました。しかし、翌日、市長から辞令をいただき、直後に新型コロナウイルス感染症対策本部会議の進行役を任せられ改めて気を引き締めました。

Q 危機管理監の役割を教えてください。

危機事案発生時は、正確な情報を入手し、市長までの情報の流れを一元化し素早い意思決定が必要です。夜間休日でも緊急対策チームを招集して対応方針を検討することもあります。日ごろは、様々な災害や危機事案について、各区局をはじめ国や県、関係機関との総合調整が主な役割です。

Q 懸案事項はありますか。

今年も、九州をはじめ各地で豪雨により甚大な被害が出ていますし、たくさんの避難者がいらっやいます。避難所では新型コロナウイルス感染症も心配されています。本市でも避難所での感染防止対策を喫緊の課題として様々な取組を進めています。



Q これまでの経歴やエピソードなどを教えてください。

消防局では予防・総務部門が長かったのですが、係長時代の平成9年に総務局の災害対策室(現危機管理室)に出向し、七都県市総合防災訓練を担当しました。これまで携わったことのないほどの大規模なイベントで、総理大臣も視察に来られ、大きなプレッシャーがありましたが、無事に終わり大きな達成感が得られました。

また、2002FIFAワールドカップサッカーが開催されたとき、その前年に組織委員会(JAWOC)に危機管理担当として出向しました。スタジアムの防災計画を作成することとなりましたが、いろいろな機関のプロ集団の中で仕事できました。決勝戦が終わって日産スタジアムの観客席から願いが込められた多数の折り鶴が舞い上がったときは、胸が熱くなりました。

この二つの出向が大きな糧となり、自信にもなり、その後の消防人生を変えたといってもいいかもしれません。

Q 一番苦労したこと何ですか。

消防局企画課の係長時代ですが、各局の再編があり、消防局も危機管理と防犯業務を併合して、「安全管理局」となりました。このとき、消防組織法に基づかない業務をどう事務分掌に入れていくか難しい問題に直面しました。また、局名に「消防」という文字を残すために必死に駆け回りましたが、思いが届かず忸怩たる思いをしました。市民の皆さんから「なぜ消防じゃないんだ」「わかりづらい」というお叱りの言葉をたくさんいただき、とても辛かったですね。

Q 思い出に残る出来事がありますか。

今年1月に実施した消防出初式は、最高の思い出です。晴天の中、赤レンガパークが人で埋め尽くされ、一斉放水などで大きな歓声が上がったことは忘れられません。改め

Q 消防士を志した理由は。

大学を卒業して、栃木県で一年間民間企業で営業の仕事をしました。大都市横浜への憧れと何か人のためになる仕事ができればという思いで横浜消防を受験しました。

皆さんに自慢できる志望動機はなく、すみません。(笑)

Q 消防学校の思い出は。

6か月の寮生活でしたが、厳しい教官にビビりながら真面目に勉強しました。特に生活態度や規律は厳しく、慣れるまで大変でした。卒業の時は涙が溢れだし、教官の優しさ、同期生の絆の強さを改めて感じました。卒業式で消防訓練センター所長賞をいただいたこともいい思い出です。



Q 子供の頃はどんな少年でしたか。打ち込んでいたものはありますか。

生まれは福岡県の門司で3歳まで過ごしました。父が国鉄職員で転勤が多く、神奈川県、埼玉県、栃木県に住みました。

子供の頃は、野球少年で主にキャッチャーをやりましたが、チームも弱くこれといった成績を残せませんでした。中学では陸上部に入り、走り幅跳びにチャレンジしましたが、これもパツとしませませんでした。高校



では柔道部に入り、初段を取りました。黒帯を巻いたときは嬉しかったですね。

Q 大切にしていることはありますか。

これまで、様々な部署で仕事をしてきましたが、「行った先で最善を尽くす」ことを心がけています。「一所懸命」という言葉を胸に刻んでいます。

Q 大変重責でストレスを感じると思いますが。

緊急事案はいつ発生するかわからないので、出先や自宅でも常に対応できるように携帯電話は一時も離せません。これは消防局長時代も同じで、リラックスしてい

る時間でも、常に事件事故に備えていたので、知らず知らずにストレスはたまっていましたね。

Q 趣味やリフレッシュできるものがありますか。

もともとアウトドア派で、渓流釣りやカヌー、キャンプなどが好きです。旅行もよく行きました。立場上、近年はなかなか行けなくなりましたが、高校時代は寝袋を持って友人と九州や東北を一周したり、大学生の時は2か月間、アメリカ、メキシコにも行きました。こうした旅で自分の知らない世界を見ることができて人生観も変わりました。

Q 最近やっていることはありますか。

新型コロナの関係で、外で飲まなくなり、家で日本酒の飲み比べにはまりました。自分に合う美味しいお酒を見つけると酒蔵から買うようになりました。もともと日本酒は苦手だったのが、今ではすっかりファンになりました。

Q 最後に、抱負をお聞かせください。

危機管理は早め早めの対応が必要にな

ります。情報の流れが止まったり、見逃しがないよう肝に銘じて、危機管理チーム一丸となって横浜市の危機に対処してまいります。

大変心強い言葉で締めていただきました。終始笑顔で対応していただいた高坂危機管理監、市民の皆様のため益々のご活躍をお祈りいたします。ありがとうございました。



潤滑油と触媒

防災を滑らかに伝え、周りを触発する手法アレコレ

今回の
触発キーワード

『国勢調査100周年～統計データから地域防災を考えよう!』

— 数字から見るリスクマネジメント

今年は5年に一度の国勢調査、大正9(1920)年の第1回調査から21回目、ちょうど100周年の節目の年に当たる。統計法によれば西暦年の末尾が「0」の年は全数調査、「5」の年は簡易調査となっていて、全数調査に当たる今年には「世帯員に関する事項」15項目、「世帯に関する事項」4項目の計19項目の調査が実施される。

この国勢調査の集計結果の一つに「昼夜間人口比率」がある。簡単に言えば、夜間人口を100とした場合の昼間人口の比率を指すものであるが、前回調査(2015年)における都道府県別では東京都が117.8と最も高く、埼玉県が88.9と最も低い(神奈川県は91.2で44位)。市区町村別では、東京都千代田区が1460.6と最も高く、宮城県七ヶ浜町が68.6と最も低かった。横浜市では西区が14位で186.0、中区が23位で161.2となっている。大地震が昼間に起きれば帰宅困難者が大量に出ることは一目瞭然だ。地域防災を考えると、大地震の過去の教訓や都市構造、居住空間や通勤通学経路などに加えて、身近な統計データから地域を知ることによってアイデアが生まれ、それが一人でも多くの命を救うことになる。(た)



「火災予防協会」だより



中火災予防協会会長の渡邊一郎でございます。御承知の通り1853年アメリカ合衆国のペリー提督率いる艦隊が浦賀沖に現れ、様々な経緯を経て1859年に横浜港は開港し、現在の370万都市の横浜市

そして中区の礎になりました。かつては西区、そして現在の港南区を含んだ南区が中区として横浜の政治経済の中心でした。現在は人口15万、しかしながら神奈川県庁や横浜市庁、横浜地方裁判所、神奈川県警察本部など、神奈川県内の行政機関が集中している中心的な区であります。また金融機関や企業の本店・支店、ホテルや商業施設も多数あります。

中火災予防協会の会員数は約400、出初式、区内小学校対象の防火ポスターコンクールの実施、自衛消防隊の強化

及び諸大会への参加、講演会・講習会の実施等々会員事業所の協力を得て火災予防活動を積極的に行っております。

また昨年は横浜市中消防署100周年記念事業として記念碑の作成、記念基調講演、横浜開港資料館での企画展を実施しました。この事業につきましては区内事業者及び区民の方々の浄財で賄った次第です。心より感謝申し上げます。また小生は中火災予防協会には20年ほど在籍しておりますが消防署の皆様が署の周辺でトレーニングする姿を見ます。そして真夜中に出勤する救急車や消防車のサイレンを聞くたびに思う事があります。彼らを危険場面に遭遇する回数をいかに減らすかが我々の活動の目的の一つと思います。今後も横浜の中心区として火災予防活動は重要と考え組織充実に務める所存であります。

中火災予防協会 会長 渡邊 一郎

中火災予防協会会員数

383事業所

Topics

～トピックス～

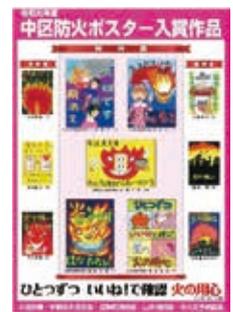
2019年9月に中消防署は100周年を迎えました！

「中消防署 100th Anniversary 大感謝祭～未来に託す防災のバトン～」



● 次世代の防火防災の担い手に

児童期における防火防災意識の向上を目的として、中区内の小学生(1～6年生)に対し防火ポスターのデザインを募集しています。応募された作品の中から、特別賞及び優秀賞を選定し、入賞作品を掲載した中区防火ポスター(右画像)を作成します。作成したポスターは、駅や複合ビルなど多数の人が集まる場所に掲示し、中区全体の防火防災意識の向上を図るために活用していきます。



会長・副会長の

紹介

会長 (株)渡辺組
副会長 (株)共栄社
副会長 日産自動車(株) 本牧専用埠頭
副会長 (株)横浜スタジアム

あの街 その店 この味 ～ 中区の名店の紹介 ～



味上中消防署長
アンパンマンのように
街を守ります

皆さんご存知のとおり、横浜には発祥の地と称される場所がたくさんあります。その中で「食パン」発祥の地と言えば中区元町にある「ウチキパン」。今年でなんと創業132年。関東大震災、横浜大空襲を乗り越え中区民のソウルフードとなった名店をご紹介します。

創業当時から変わらない製法で作られている食パン「イングランド」。トースターで焼いて食べると外はこんがり、中はモチッとより食感が際立ち、とても美味しい食パンです。

取材時には多数のお客さんの出入りがありましたが、やはりコロナ禍で客足が遠のいているそう…。ぜひ、元町ショッピングの際はお立ち寄りください。



工場長である
5代目の
打木 豊さん



これが「イングランド」!!

公益社団法人 横浜市防火防災協会(中区)の仲間です

(株)渡辺組/日成建設(株)/ (株)ホテルニューグランド/川本工業(株)/港湾貨物運送事業 労働災害防止協会横浜支部
横浜市民共済生活協同組合/プリーズベイホテル(株)/ (医)博生会本牧病院/ (株)横浜スタジアム
(株)日新 安全環境管理部/ (株)ロイヤルホール ロイヤルホールヨコハマ/ 松栄防災商事(株)/日本大通ビル管理組合



横浜市自衛消防隊等連絡会 新代表あいさつ



横浜市消防局 予防課

このたび、横浜市自衛消防隊等連絡会代表に就任いたしました久良知秀郎と申します。

まず、今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる皆様に対して、心からお見舞い申し上げます。

当連絡会は、消防訓練等を通じて、各事業所の自衛消防隊の知識・技術の向上に努め、その育成強化を図ることを目的として設置しています。

身に余る大任ではございますが、皆様の御指導と御鞭撻をいただき、当連絡会の発展と事業所防災力の向上の

ため、微力ながらその重責を果たす所存であります。

自衛消防隊は、事業所における災害の発生を防止するとともに、万が一災害が発生した場合は、被害を最小限に食い止める役割を担っています。また、事業所の防火・防災の取組は、日頃の備えを含めた『自助』を基本としながら、地域との共生を果たし、地域防災力の向上に資するという『共助』にも至る重要な役割を担っています。

近年、火災のみならず、地震や風水害など自然災害による被害がますます激化してきています。当連絡会においても、日頃から事業所間の連携を一層強固にして、これらの災害に迅速かつ円滑に対応し、「安全・安心を実感できる都市ココハマの実現」に寄与できるよう、力を尽くしてまいります。

皆様の御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

横浜市自衛消防隊等連絡会代表
久良知 秀郎

救急の日(9月9日)に 「それゆけ!キッズ救急隊」ダンス動画配信 ~「それQ(救)」を歌って踊ろう~

横浜市消防局 予防課

横浜市消防局では、近年増加傾向にある救急需要を踏まえ、救急車の利用への理解や#7119などの普及啓発を目的とした子ども向けダンスソング「それゆけ!キッズ救急隊」の動画を作成し、救急の日(9月9日)に動画共有サイトYouTubeで配信を開始しました。

動画の特徴

- 子どもたちが歌って踊って元気に楽しく、救急活動の実態や救急サービスの利用について学ぶとともに、動画を一緒に視聴する保護者の方にも、理解を深めていただける内容です。
- 作詞、作曲を消防職員が手掛け、ダンスの振り付けを市内保育園の保育士が考案し、撮影や動画編集などは、**全て消防職員が手作り**で完成させました。
- 横浜市出身である、**タレントの石塚英彦さん**にも**特別出演**いただいています。



救急隊員と子どもが、歌って踊って楽しく救急を学びます。



市民(石塚さん)の疑問に救急隊員が答えます。

※動画はURLまたはQRコードからご覧ください。

https://youtu.be/74hLWL_ELHw



新約消防白書

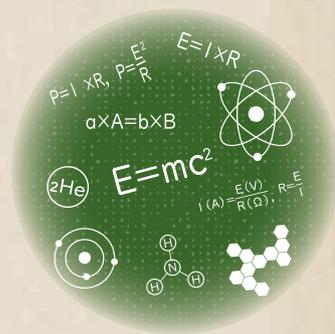
難を逃れる方法

物理の先生が、教壇の上で実験を始めるなり「やり難い。こんな時は、怪我をする。」と独り言のように呟いて、実験器具の位置を変えていたのを思い出す。使い勝手の良さは、考えたのではなく感じるものですが、経験則で安全性を習得しているのかもしれない。

人の備えている機能は、本来持っている能力が発揮されるとき心地よく感じ、これを『機能快』(Funktion Lust)というそうです。更には、使い勝手の良さを極めると健康な美が生まれ、「用の美」へと繋がるのかもしれない。

巷で「やばい」という言葉を耳にする。これは機能快到に反し心地の良くない言葉です。由来として「矢

が飛んでくる場所に居ること」という説があります。矢場に居れば、それは身の危険を感じます。この感覚はどのように身に付けたのでしょうか。生

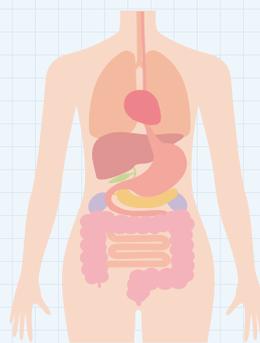


命の歴史は40億年、その間、多くの種が生まれ、地球上のあらゆる災難に遭遇し、抗いつつもその間ほとんどの種は滅びています。それでも、一度も絶えずそれを乗り越えた種が地上に現存している。それが、今、我々がここにいる所以でしょう。災難を乗り越える過程で種は学び進化し遺伝子の中に危機を予知する能力「やばい」という感性を培ったのではないのでしょうか。あの家具は、地震時に倒れないだろうか。日常を「やばい」というセンサーでスキャンして見ると、危険箇所が、結構炙り出される。それが難を逃れる一つの方法になるのでは。(K)

妄言多謝 第13回

意識は脳にある。では心はどこにある。それはからだにある。これは解剖学者三木成夫先生の考えである。先生の慧眼は心の在処をからだ、特に消化器官にあると見た。からだの基本は1本の管であるとした。随分大雑把な考え方のように見えるが、著作を読むと精緻な論理がよく分かる。赤ん坊は食べ物に食欲である。年寄り次第に食が細くなり、ついには食べなくなって死ぬ。身内がそうである。これは生きる力と平行しているのではないか。そして心は管が支配しているということに気がついた。私がではなく、古くからの日本人が、腹を括る。腹に据えかねる。腹を探る。腹を立てる。腹が黒い。

腹を決める。腹を固める。腹を読む。これらの「腹」を「心、精神、根性、気持ち」の意に置き換えるとだいたい当たっている。したがって腹(すなわち管)の状態次第でこれらも変わるということだ。満腹と空腹とでは気分がちがうだろう。歴史的にはこれらを満たすために個人も国家も戦った。自分が食いしん坊だからそのことを是としようとする意図がないではないが、私ばかりではなく畏友の方々も大体そうである。彼らは例外なく生き方が食欲である。食欲不振は生き物として心身共に危機であると認識された。(L)



※ 慧眼(けいがん)とは…物事の本質を鋭く見抜く力 ※ 畏友(いゆう)とは…尊敬している友

横浜路地裏日記

YOKOHAMA ROZIURA NIKKI

連載 第12回

文と写真 ● ジャム

雨の御堂筋、雨のオランダ坂、雨の西麻布、雨の田原坂、雨の赤坂、雨のヨコハマ、雨の銀座、雨の思案橋という具合に、「雨の」の後にいろいろな地名や名詞をつけた歌は、枚挙にいとまがない。というわけで、「雨の馬車道」というのはどうだろう。雨の音の連想が強すぎるかもしれないが、実際に雨の馬車道を馬車が走るとどうだろう。何しろ馬車道を少し入ったところには、牛馬飲水槽があるくらいなのだから。

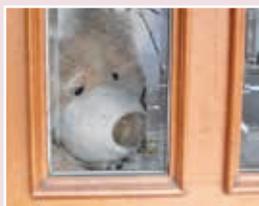
馬車道という町名はないらしい。神奈川県立歴史博物館は、ネオゴシック様式といわれる由緒正しい建築で何とはなしにイギリスのマンチェスターを思い出してしまう。思い出すというときも行ったことがあるように聞こえるかもしれないが、そんなことはない。イギリスは日本より少し気温が低く、雨もよく降る。マンチェスター

はどうだろう。知ったかぶりで生きてきただけで実は何も知らないし分かっていない。どうするんだ、オレ。



馬車道と並行して走っている道に六道の辻通りがある。六道の辻というからには京都の六道珍皇寺あたりに連想が飛びがちであるがそんなことはなく、そのむかしは六差路だったところということのようである。いかにも横浜らしい。輪廻転生しなくていいのはちょっとほっとする。

静かな日曜日の雨の日は、幻の馬車は走ることもなくいわゆるビジネス街の風情であり、飲食店も静かになんだか休息をとっているように見えるのだった。



わたしのベストショット!!

撮影:近藤 美樹さん



今年は中止となったポンプ操法大会
機敏な動きをまた見たい



編集後記

当たり前ではないことが日常になっていた昭和の戦時下の話である。

身内の話で恐縮だが、明治生まれの私の祖母は英語とドイツ語を流暢に話した。それには理由があった。祖母は関東大震災の直後に名古屋から横浜に嫁いだ。大恐慌の後、5人目の子供がお腹にいるときに夫を結核で亡くした。子育てのため、稼ぎのいい山手の外国人宅で家政婦として働いた。最初はアメリカ人宅、その後は戦況が変わりドイツ人宅で働いた。生きるために語学は家人から直接学んだ。

家は横浜大空襲で失った。壁にはある感謝状が飾ってあったという。外国人の情報を提供した功績だったと聞いた。他には高質な毛布もあった。関東大震災直後にアメリカから支援助物資として贈られたものだ。それを米軍機が燃やすことになるとは。

晩年の祖母は、近所の産婦人科で働いていた。外国人の妊婦が訪れた際に祖母は通訳として重宝がられた。ある日妊婦に「貴方の言葉は発音が綺麗だ」と褒められたという。

祖母の死後、遺品の中から洋館の芝生に座る金髪の少女の写真が見つかった。祖母が仕えた家の娘だったのだろうか。

こんな一市民の物語は戦時下の日常の中に沢山あったのかも知れない。

今、コロナ禍に耐えているうちにその日常がまた変わっていく。だからこそ横浜にあった震災や戦災の歴史に触れて、生きる力を学ぶことも忘れてはならない。災害の伝承は小誌の大きなテーマである。

(アルガ)



防火管理者
必携!

「消防関係法令集」販売中

- 防火・防災管理の業務を行う上で必要となる消防関係の法令を網羅した実務書です。
 - 横浜市火災予防条例も編さんされており、法令、条例、両面の規制が把握できます。
 - 監修/横浜市消防局予防部予防課
 - サイズ/A5 ● 重さ/約1.200g
- 一般価格 2,750円(税込)
会員価格 2,500円(税込)



購入方法

- ① 当協会窓口で購入
- ② 宅配を希望
(申込用紙を送付します。
送料等の御負担をお願いします。)

問い合わせ先

電話 045-714-0920 (総務課)

「横浜市防火防災協会」のホームページにご案内と注文用紙がありますのでご利用ください。

横浜市防火防災協会

**消防・防災
機器販売**

**消防設備
工事・点検**

**防災用品
販売**

廃消火器の処分は所定の
手続きが必要です。
買い替え・処分は弊社に
お任せ下さい。

《創業71周年》消火器リサイクル推進センター 特定窓口

双信消防設備株式会社
横浜市西区中央1-37-24 ☎ 045-321-1884

横浜油材株式会社

- 石油部：重油・軽油・灯油・潤滑油
- 洗剤部：クリーニング工場向け洗剤、資材全般
・工業薬品、有機溶剤
(業務用水洗機・ドライ機・コインランドリー設備施工全般)
- 工部部：危険物工事設計施工及び解体工事一式
- リサイクル部：中古タンクローリー、中古給油機、
中古コンプレッサー等

〒245-0018
横浜市泉区上飯田町1465-2
TEL 045-803-3508
FAX 045-803-3594
URL : <https://y-yuzai.com/company/>



◆地下埋設タンク・配管の
気密漏洩検査
(一般財団法人 全国危険物安全協会 第14012号)

◆産業廃棄物の処理・再生
各種タンク・ピットの清掃工事
(弊社でリサイクル可能な廃油は買取り致します)

《ISO14001認証取得》

三美興産株式会社
〒223-0059 横浜市港北区北新横浜一丁目9 番地2
TEL 045(549)3551 FAX 045(548)2102
URL:<http://www.sanbikosan.com/>




消防用設備一式 設計. 施工. 販売. 修理. 点検

消 火 器	漏 電 警 報 器
自動火災報知設備	屋内消火栓設備
避 難 器 具	スプリンクラー設備
非常警報設備	誘 導 灯

株式会社 東横防災商事

〒226-0016
横浜市緑区霧が丘4丁目2-3-206
☎(045)921-1244
FAX(045)923-0677



創業57年の信頼と実績

**防災のプロが
スピード対応!!**

消防設備点検・工事 防災用品特価販売

横浜消火器株式会社
横浜市磯子区馬場町1-48 横浜型地域貢献企業

0120-963-890

創業 50 年

消火器・消防ポンプ他
各種防災機器の販売
火災報知機他・各種防
災設備の設計施工・点検

株式会社 **蒲原商会**

横浜市港北区樽町3-1-13
TEL (045) 542-7266 (代)
FAX (045) 542-7252

行動力に**自信**アリ!

常にお客様目線で**ニーズ**にお応えします。

日頃のご愛顧に感謝いたします。
これからも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。

吾妻印刷株式会社
〒232-0006 横浜市南区南太田 4-8-12
★お電話でのお問合せは…平日9:00～19:00★
www.azma.co.jp

■本社・工場
Tel.045-730-5161(代) Fax.045-730-5171
■ディスプレイ事業部 プレセンス
Tel.045-341-4475 Fax.045-341-4476

横浜 吾妻印刷

QRコードをスマートフォンまたはタブレットで読み込みますと、当社サイトをご覧いただけます
(通信料はお客様負担です)

神奈川県民のための

火災共済

組合員のみなさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です

例えば、700万円の保障での年間掛金

マンション等 (耐火構造) 専用住宅の場合	2,800円
木造・準耐火等 (非耐火構造) 専用住宅の場合	5,600円

*新規にご加入の際、組合員になっていただくため、100円の出資金が必要です。

広告内容は概要のため、詳細は下記までお問い合わせください。

たいせつな建物と家財…

- 火災
- 水漏れ
- 落雷など

もしものリスクに備える保障!

築年数に関係なく、
同じ加入基準額で
加入できます!

横浜市孤立予防対策協力事業者

横浜市民共済生活協同組合 ☎ **0120-073-203**

横浜市中央区日本大通58 日本大通ビル 8階 [受付時間] 月～金/8時30分～17時15分(祝日・年末年始を除く)

消防界の今日を創り、明日を拓く

シリーズ防火

A5判
2色刷

詳細は
こちら!



1 事業所編 32頁

定価(本体140円+税)



従業員など、一人ひとりが「自分の職場から絶対に火事を出さない」という姿勢で日頃から取り組むことを啓発する一冊。

2 消防計画編 16頁

定価(本体96円+税)



防火管理等の基本となる「消防計画」の重要性とそれに基づく関係者の役割と活動について解説。

3 訓練編 16頁

定価(本体96円+税)



「自分のところは自分で守る」ため、そして「いざというときのため」に消防訓練は不可欠。効果的な訓練のためのポイントを簡潔に解説。

神奈川県とのコラボ第1弾!
組織立った活動をする前の対応をまとめた
今までなかったサポートブック!

詳細は
こちら!



消防団初動対応 サポートブック

大規模災害編

編集/神奈川県消防課

- ポケットサイズ(130mm×80mm) ●リング製本(着脱可能)
- 32頁/オールカラー ●定価(本体770円+税)

※神奈川県と東京法令出版は、神奈川県民の防災及び防犯意識の向上並びに対応力の強化を目的とした普及啓発を図っていくことを目的に、「防災・防犯の普及啓発等に関する協定」を締結しました。「消防団初動対応サポートブック(大規模災害編)」は、この協定第1弾の書籍です。

本書の特長

火災
救急
救助

など

発生する様々な事案ごとに対応手順を明記。「確認事項」「判断基準」にチェックすることで、迷わずに適切な対応ができます。

見開き 上面

災害の種別ごとに

- 「確認事項」
- 「判断基準」
- 「活動内容」

見やすく
使いやすい
見開き構成

を **フローチャート** で
解説!

見開き 下面

上面の **フローチャート** で
重要な部分を
豊富な **イラスト** で
分かりやすく解説!



東京法令出版 株式会社

インターネットでお申込み
お申込みは
こちらから
<https://www.tokyo-horei.co.jp/>

お電話でお申込み
0120-338-272

FAXでお申込み
0120-338-923

公益社団法人 横浜市防火防災協会

〒232-0064 横浜南区別所一丁目15番1号 BML横浜ビル2階

URL <http://www.ydp.or.jp/>

FAX 045(714)0921



□ 総務課 TEL 045(714)0920
□ 防災コンサルティング課 TEL 045(714)0929

□ 講習課 TEL 045(714)9909
□ 救命講習受付 TEL 045(714)9911